

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp
Eメール info@jaichi.jp
TEL <052> 916-2251
FAX <052> 916-2308

2006.7.10
No.924

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

原水爆禁止2006年
世界大会へ参加を

- 8月4日(金)～6日(日)(広島大会)
- 8月8日(火)～9日(水)(長崎大会)



05賃金確定闘争は、わず
か0・05月の一時金の引き
上げと2年ぶりの基本給引
き下げ、「週及実施」を行
う05年分の勧告と50年ぶり
の公務員賃金制度の抜本改
悪となる06年度以降の「給
与構造の見直し」という2

本立ての史上最悪の勧告の
もとでのたたかいでした。
職場からの総学習運動の
徹底と10月28日の民間労働
組合との共同の決起集会を
はじめ地域的・全県的な産
別闘争の展開で、05人勸を
05年分給与の取り扱いと06
給与構造見直しと決着
時期を分離させ、労使
協議の前提を確保させ
ることができました。

3年前から全国的な規模
で取り組んできたトヨタ総
行動の成功などで、「トヨ
タ」のベースアップを実現
させました。

2月の最賃体験では、昨
年を上回る21人が取り組
み、15人がやり抜き、6月
21日のハンガーストライキ
などにも取り組みました。

嘱託の現給を確保・改善す
る結果をひきだしました。
また、06国民春闘と結合
した「給与構造の見直し」
では、地域手当を給与制度
と分離させ、「10%・現行
水準確保」の要求を春日井
など都市職を軸に先行し回
答を引き出し、町村職や未
組織自治体・自治労単組へ
も波及させました。

こうした中で、きわめて
厳しい闘いを強いられた東
三河で、特に蒲郡では、「国
並み0%」の押しつけに固
執した当局に対して、宣伝
署名、決起集会、上申活動
などを反復して取り組み、
譲歩を勝ち取りました。

倉田さん支援では、自治
労連愛知県本部と西三河地
区協が事務局幹事として、
会に参加し、運動の一翼を
担ってました。

職場活動を強化し、元気に 意欲を持って働き続けられ る職場づくりをめざす

たたかいの方向
①06人勸に向け、一層の
賃下げを狙う人事院の官民
比較方式の改善を許さず、
「賃金改善要求」署名を進
めます。中央行動や民間労
働者・労働組合との共同を
広げます。

②成果主義に基づく「査
定昇給」の導入を許さず、
地域手当の「現行水準確保、
10%確保」と賃金制度の改
善の取り組みを強めます。

③手当や時間内の労働組
合活動の制限、互助会・健
保・共済などの攻撃に対し、
労使協議・労使合意を前提
に、制度改善や使用者責任
を明確にさせます。

④臨職・パート等非正規
労働者の賃金・手当改善、
組織化に全力をあげます。

⑤安心して働くことので
きる職場環境をめざ
します。公務内外に
かかわらず、失職す
るといふことのない
よう「失職例外規
定」の新設・改善を
めざします。

⑥トヨタ総行動な
ど大企業の社会的責
任を追求し、賃金の
底上げ、最賃、公契
約運動を進めます。

憲法・教育基本法を守り 平和と暮らしを守る運動の前進を

①自治体リストラや住民
要求実現の運動では、新城
の市民病院アンケート、「尾
陽病院よくする会」、名古
屋・則武保育園の廃園・民

②7団体共同で、「小さ
な政府・自治体」を住民の
目から考えるシンポジウム
を4月15日に開催し、15
4人(うち自治労連64人)
が参加しました。

③第32回東海自治体学校
には16単組・175人の参
加、第47回自治体学校には、
59人が参加しました。

④「介護・福祉・医療な
ど社会保障の施策拡充を求
める」秋の愛知自治体キャ
ラバンと愛労連、愛知公務
共闘、自治労連3団体によ
る春の自治体キャラバンを
実施しました。

⑤指定管理者制度では、
一方的な実施をさせない取
り組みと公募、選定、運営
など民主化を求めて奮闘し
ました。しかし、蒲郡での
賃金・労働条件後退、豊橋
市駐車場公社の解散・退職
を余儀なくされた職員が生
まれるなど、重大な問題が
発生しました。

⑥集中改革プランの策定
にあたって、「労使協議を
尽くすこと」などを求める

定期大会議案
ダイジェスト版

世界の宝憲法9条を守ろう



5・27国民大行動に5万人余が代々木公園に集まりました

〈裏面に続く〉

憲法・教育基本法を守り、 平和と暮らしを守る政治へ 転換させる

①自治労連作成のジャンボパネルを活用し、地区協・補助組織単位の憲法学習がすすみ、勤通大・憲法特別コースの受講者も185人になりました。

②「9の日」統一宣伝行動を多くの単組が積極的に受け止め、法案の廃案を求め、宣伝行動に取り組みました。

③11月の「憲法九条を守るろう05県民のつどい」に3,200人が参加、各地で結成される「地域九条の会」には多くの単組が中心的な役割を果たしています。また、憲法改悪反対愛知共同センターが11月21日に発足し、署名などの取り組みを強めています。

④サラリーマン増税、消費税の引き上げなど、大増税に反対する請願署名や宣伝行動のとりくみを進めてきました。

⑤高齢者・国民に負担増を強い、公的保険のきかない診療を拡大して医療保険制度の根幹を揺るがす医療保険改悪を許さないたたかいにとりくみました。

⑥改悪後の介護保険の実態調査を行い、安心して利用しやすい制度をめざして学習と運動をすすめてきました。

⑦職場での九条の会の確立や「憲法改悪反対」の署名を推進し、地域に打って出て、国民に憲法守れの世論を広げます。

⑧「国民投票法案」や「教育基本法改悪法案」阻止に全力をあげます。日米安保・基地再編強化を許さず、核兵器廃絶をめざします。

⑨消費税をはじめとした大増税路線を許さない宣伝、署名、要請行動を県下すみずみで展開します。

⑩安易な国民健康保険証の取り上げ、短期証発行などを許さず、制度改善を求める取り組みを進めます。また、厚生年金、共済年金、国民年金の一元化を許さず、最低保障年金の確立を求めます。

⑪「わたくしと憲法」では、森操さん（平和の会・守山事務局長）のコーディネートで金城学院大学教授の武田万里子さん、弁護士野保さん、元地元高校教諭の吉田豊さんが九条への思い、「私たちに何ができるか」をそれぞれ発言しました。武田先生は「わたしは

「もりやま九条の会」発足のつどい



この街から再び自衛隊員を海外の戦争に送らないようにと270人がつどいに参加

7月1日、名古屋守山区の区役所講堂で、「もりやま九条の会」発足のつどいを開き、270人が参加しました。合唱サークル「ピース&ラブ」のコーラスで始まり、地元の作家・松山新子さんの開会挨拶に続き、よびかけ人の一人、守山革新懇の大島良満さんが「準備会で守山区の著名な方を一軒一軒訪問して呼びかけ人が30人にもなった」と報告、参加者全員で「もりやま九条の会」の発足を確認しました。

要求前進の取り組みと結合 させ、組織の拡大強化を図る

①新規職員の組織化で、青年が実行委員会など

朗読グループ「ちいちゃん田んぼ」がスライドで、絵本「戦争のつくり方」を朗読し、参加者は真剣に聞き入りました。

つどいのメイン、フォーラム「わたしと憲法」では、森操さん（平和の会・守山事務局長）のコーディネートで金城学院大学教授の武田万里子さん、弁護士野保さん、元地元高校教諭の吉田豊さんが九条への思い、「私たちに何ができるか」をそれぞれ発言しました。武田先生は「わたしは

を立ち上げ歓迎会、研修会など開催し加入促進を強めています。6単組が100%加入を達成しました。

②臨時職員の組織化では、合併問題や確定闘争での臨時・パートの要求で奮闘する単組で組織化が進んでいます。

③市町村合併に伴い、師勝町職労は北名古屋市職労に名称変更を行い、組合員を二桁にし、清須や豊川でも合併後に旧の町職員を組織化しています。

④人事院勧告特集号の配布、尾東地区協では学習会の呼びかけ、調整手当廃止では地域手当を同額に求める宣伝を行い、未組織労働者を励まし、拡大を図りました。

⑤指定管理者制度の導入で、豊橋市駐車場公社が06年3月末で公社が解散、解雇問題が発生。ただちに22人が労働組合を結成し、雇

用の確保、退職条件の改善等を勝ち取りました。

⑥春と秋の総学習では、1万人以上の組合員が参加しています。

⑦機関紙の活動は、組合活動を組合員に知らせ、元気の出る組合の大きな武器となっています。

⑧自治労連共済の取り組みでは、秋の組織拡大月間、春の組織拡大月間に合わせ、各単組で創意工夫をこらした積極的な取り組みがされました。

労働組合は、「数が力」です。雇用形態の違いを超えて、すべての単組が、自治体や外郭団体、自治体関連職場で働くすべての職員を視野に、組織化に全力を挙げましょう。

職場を基礎にした運動を進めるためには、組合員の要求、職場の要求で職場から運動を起こしていくことが基本です。職場でみんなが議論、みんなで決める、そしてみんなで行動することが大事です。その要が執行委員会です。情勢に的確に対応し、運動を推進するため、ねばり強く追求しましょう。また、職場での世話役活動が重要です。自治労連共済の意義と役割を深め、新規組合員の組織化、未加入の組織化など、組織強化拡大と結合して取り組みましょう。



金山駅南口で憲法守ろうと呼びかける組合員

単組・地区協 のとりくみ 九条の会 Tシャツで宣伝 名市職労環境局支部

6月24日（土）の午後、金山駅南口で名古屋市職労環境局支部九条の会が憲法宣伝を行いました。九条の会としてまず行動しようと、支部の会議を終えてから集まった組合員30人がその日の「九条の会Tシャツ」で、ゴミ袋（3枚1セット）や花の種、憲法うちわ、ポケットティッシュなどそれぞれ250組を用意して金山駅周辺を通行する人々に「憲法9条を守って、平和な日本に」と呼びかけました。約1時間ですべて配布し、金山駅周辺を清掃して行動を終えました。

職場の声

◆最近目の疲れをよく感じます。ツボの話を読んでさっそくお風呂の中で足裏を押してもんでいます。気持ちがいいです（斉藤典子・西尾市職）◆給食室はとて暑いです。毎日汗だくでがんばっています！（藤本美香・瀬戸市職）「おいしい給食作りごころうさまで」（編集部）◆最近、サッカーW杯のため寝不足です（尾崎健次・豊橋市職）◆最近のガソリンの値上がりに加え、通勤手当削減のWパンチで泣けてきます。日銀総裁には怒り爆発！（八木里美・瀬戸市職）◆いつまでも健康を保持しようと、軽スポーツを始めまし

単組定期大会 役員紹介

- 名水労（6月29日）
- 執行委員長 水谷 達也
- 副委員長 近藤 睦美
- 書記長 渡辺 泰
- 書記次長 佐賀 達也